

CAPD腹膜炎 治療計画表

患者名

殿

主治医 近森正昭

専任看護師 後藤玲子

	発症1日	発症2日	発症3日	発症4日	発症5日	発症6日	発症7日	発症8日	発症9日	発症10日	発症11日	発症12日	発症13日	発症14日
入院スケジュール	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
治療目標		自覚症状の軽減												
			透析液白血球数の減少		副作用の防止									
CAPDバッグ交換スケジュール	初日は入院時から3時間毎で交換			バッグ交換回数は混濁状況みながら6回～5回交換と調整します。										
	入院中のバッグ交換時間予定⇒			5回の場合 5時/9時/13時/17時/22時			4回の場合 5時/10時/16時/20時							
治療/注射	抗生剤の点滴/朝													
ガーゼ交換	毎日専任看護師がおこないます。													
検査	血液検査													
レントゲン														
排便コントロール	2日間排便なければ下剤調整しますのでお知らせ下さい													
身体の清潔	手洗いの習慣、食後の歯磨きの習慣をつけましょう				手/足の爪 清潔に留意しましょう									
								腹痛など回復状況みながらシャワー浴介助いたします。						
腹痛/発熱時	体幹クーリング/冷ました透析液を使用			バッグ交換の回数の増加/				腹腔内の生食洗浄施行						
検温/体重測定	検温は3検 6時/14時/18時 体重は毎朝 食前に測定します													
服薬管理	腹膜炎時は体重の増減で血圧が変動するため降圧剤の調整が必要のため服用前に血圧測定します。 腹膜炎時は体重の増減で血糖が変動するためインシュリンの調整が必要のため食前に血糖測定します。													
食事/水分	普通食で水分も制限ありませんが塩分7gが標準です。													
排泄	腹痛みがあれば車椅子でトイレ介助しますが翌日からは歩行できます。													
安静度														
説明	CAPD腹膜炎の病状治療経過について医師/専任看護師より説明 専任看護師が毎日病状経過について説明													
	CAPDバッグ交換の手順の再指導				 身体状態の問題点、心配な事など聴いて対応します。									
退院準備	回復の経過をみながら必要物品の準備/自宅訪問/退院日を計画します。													
家庭訪問	順調に経過すれば8～10日目には退院/通院加療になります。													

心配なこと、わからないこと、何でも聞いてください。

主治医 近森正昭

専任看護師 後藤玲子